



第59回 全国高等学校バスケットボール選手権大会

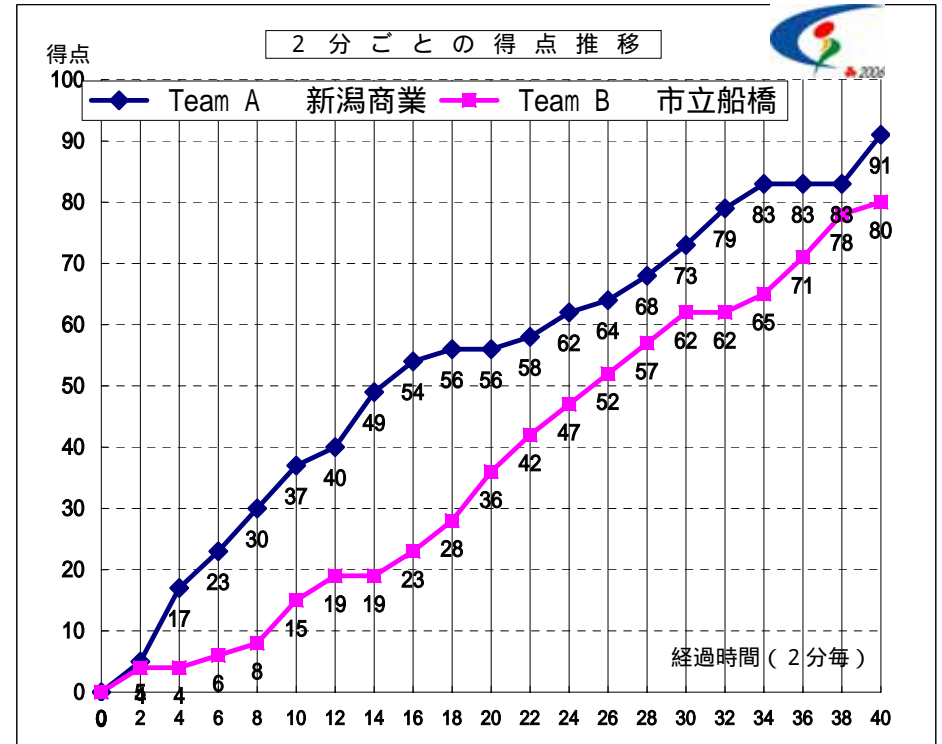
男子 3回戦

試合日 2006年8月4日
 開始時間 15:00
 会場 大阪府立体育会館
 コート Cコート
 試合順 4 試合目

Team A		Team B
新潟商業	91	80
新潟県	(37 - 15) (19 - 21) (17 - 26) (18 - 18)	市立船橋 千葉県

Team A 新潟商業		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	小林 純也		14	2	2	4	6	0		0	4	0					
5	小林 和也	6	0	0	2	11	2	2	3	1	1	2	3	0	0	6	29.5
6	田中 憂希	23	5	9	4	9	0	0	0	0	3	3	2	1	0	2	40.0
7	内藤 潤一	8	0	0	3	4	2	4	2	1	4	5	3	1	0	1	23.5
8	伊藤 龍也	4	0	0	2	2	0	0	3	0	1	1	1	2	0	3	20.0
9	土田 賢大	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1.0
10	横田 哲英	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	藤田 裕也	8	0	0	4	8	0	0	1	1	4	5	1	0	0	0	12.5
12	長谷川 智也	28	4	9	6	10	4	4	1	0	4	4	5	0	0	2	33.5
13	松浦 和城	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	2.5
14	小林 佑司	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	西片 翼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	5	5	10				2	
合計		91	11	20	25	50	8	10	14	10	32	42	25	5	0	16	200
RATE		55.0%	50.0%	80.0%													

Team B 市立船橋		PTS	3 P		2 P		F T		F	REBOUND			AS	ST	BS	TO	PT
S	選手名		成功	試投	成功	試投	成功	試投		OR	DR	TOT					
4	山越 健司		4	0	0	2	6	0		0	2	2					
5	池内 博人	6	0	4	3	4	0	0	1	1	0	1	4	3	1	4	35.0
6	中山 徹大	15	0	1	6	9	3	6	2	6	9	15	2	0	6	3	40.0
7	神 佳希	31	4	5	9	24	1	3	3	1	4	5	2	2	0	2	38.5
8	星野 拓海	14	3	6	2	4	1	2	3	1	4	5	0	0	0	0	28.0
9	横田 真実	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	遠藤 祐亮	10	0	0	5	7	0	0	3	0	2	2	1	0	0	2	18.5
11	上野 雄大	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	小出 翼	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	岩井 俊憲	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	西 信之	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	三富 修平	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Team / Coach:									0	1	1	2				2	
合計		80	7	16	27	54	5	11	14	12	23	35	13	6	7	16	200
RATE		43.8%	50.0%	45.5%													



CTO	1・2P	3・4P	OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	18:04 19:59	26:12 36:32				
TeamB	3:40 14:20	32:36 39:02				

タイムアウトは経過時間で表示しています

戦評

良く鍛えられたディフェンスからアグレッシブに戦うチーム力のある新潟商業と、シード校の実力を十分に発揮し勝ち上がった市立船橋との対戦。序盤から差を付けられた市立船橋が最後まで粘りを見せ、新潟商業を苦しめた一戦だった。

第1P、市立船橋#5池内のランニングシュートで先制すると、新潟商業#7内藤の3Pで決め返す形でゲームが始まった。序盤から新潟商業#6田中、#4小林、#12長谷川の3Pが決まりペースを掴む。市立船橋は成すすべ無く4分にタイムアウト、13点差がつく。その後も新潟商業のペースが続き、第2Pへ。第2P、開始早々、市立船橋#5池内のジャンプシュートが幸先良く決まるが、すぐさま#12長谷川に3Pを決められその後も#11藤田のゴール下シュート、またもや#12長谷川の3Pが決まり、たまたま市立船橋がタイムアウトを取る苦しい展開。残り1分#5池内のドライブインと#7神の3P連続ゴールで巻き返し20点差で前半終了。第3P、前半のリズムの悪さが影響したのか新潟商業のディフェンスの足が止まってしまう。すかさず市立船橋は#7神、#8星野の3Pで加点し前半あまり機能しなかった#6中山が調子を戻し流れを完全に掴み取る。残り3分新潟商業のタイムアウト。その後一進一退の攻防となり11点差で第4Pへ。第4P、#8伊藤のゴール下シュートと#4小林のラッキーなシュートで再び流れを掴む新潟商業。19点差となった3分、市立船橋がタイムアウトを取るとジリジリと点差を縮めていくが、ついに5点差まで来たときに新潟商業の連続3Pで突き放され、終了間際再び#6田中に3Pを決められ試合終了。

主審	梅本 哲三	副審	柳屋 伸明	戦評	北村 雄二
----	-------	----	-------	----	-------